

2018年5月18日

朝日放送グループホールディングス株式会社

2018年3月期 決算説明会 質疑応答

実施日:2018年5月18日(金)

当社説明者: 代表取締役社長 沖中 進

代表取締役副社長/朝日放送テレビ株式会社 代表取締役社長 山本 晋也

役員待遇/エー・ビー・シー開発 代表取締役社長 米川 栄二

役員待遇 角田 正人

以下は、決算説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1)テレビスポットの現況について

A1)4月は前年比91.7%、5月は前年比90.5%(18日時点)。

新しい中期経営計画の策定にあたって、地区投下(エリアのテレビスポット総量)は2020年まで伸びないと想定し、当社のシェアを26.3まで伸ばすことを目標とした。

それに向けて、2018年度は、シェア25.5が目標。

Q2)コストコントロールについて

A2)番組費の一律カットは考えていないが、投下している番組費が利益に対して適切なのかを検証している。

労務費も当然のことながら見直しが必要。諸経費や設備投資も必要性を勘案する。

Q3)アニメ事業について

A3)今後、10数億円の投資を考えている。

Q4)CVCファンドについて

A4)ABCドリームベンチャーズは12億円でスタートした。管理料など差し引くと、実質9億円強のうち半分ほどをこれまで投資した。最近イグジットできたものもある。

今後は、投資プロセスの検討段階に朝日放送テレビの局長クラスも入れて、投資先とのシナジー効果を高めて行きたい。

以上